

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) Moto Class 2026年度入校式及び第1回カリキュラムのご報告

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿)」では4月1日(水)にMoto Classベーシックコース・アドバンスコースの2026年度入校式を開催しました。式典後は心理検査、入校説明会、オリエンテーションなどを実施、さらに翌2日(木)・3日(金)は早くも第1回目カリキュラムを行い、それらの全てを滞りなく終了することができました。ご協賛各社様に深く感謝申し上げるとともに、ご報告させていただきます。

近年では、今季Moto3からMoto2へのステップアップを果たした古里太陽選手をはじめ、多くのHRS鈴鹿卒業生たちが国内外で注目を集めています。彼らに続くレーシングライダーの育成を目標に、HRS鈴鹿Moto Classは2026年度も活動を続けてまいります。何卒、ご理解・ご協力のほど、宜しくお願い致します。

敬具

2026年4月1日

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2026 ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS鈴鹿) Moto Class / 入校式～第1回カリキュラム 開催概要

【入校式】

- 日時: 4月1日(水)
- 会場: 鈴鹿サーキットホテル 2階 ミーティングルーム (心理検査、入校説明会、オリエンテーション)
- 参加: 入校生 (ベーシックコース・アドバンスコース)
岡田忠之Principal
ベーシックコース主任講師 / 高橋裕紀Instructor・榎戸育寛Instructor
アドバンスコース主任講師 / 野田弘樹Instructor

【第1回目カリキュラム】

- 日時: 4月2日(木)・3日(金)
- 会場: 鈴鹿サーキット・南コース (走行訓練)



技術の向上に加え、世界で通用する精神力・人間性の育成も 目指すHRS鈴鹿Moto Classに9名が入校

鈴鹿サーキット周辺の桜が満開の時期を迎えた4月1日（水）、2026年度HRS鈴鹿Moto Classの入校式を鈴鹿サーキットホテル 2階 ミーティングルームにて行いました。

この入校式にはベーシックコース6名（内1名欠席）、アドバンスコース3名の入校生の合計9名が参加。国内のトップライダーが務めるInstructorの皆様や保護者の皆様にもご列席いただき、入校生たちの1年間に掛ける意気込みが満ちた会場を舞台に、厳かに入校式を行いました。

まず、ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキットモータースポーツ事業部レーシングスクールセンター所長 宮澤謙作より挨拶。その後、HRS鈴鹿Moto Class岡田忠之 Principalより入校生に向けて激励の言葉が贈られました。

その後はベーシックコース主任講師の高橋裕紀・榎戸育寛の両Instructor、アドバンスコース主任講師の野田弘樹Instructor、入校生を紹介。名前を呼ばれた入校生は大きな声で返事をし、自分の進むべき道筋を見据えた真剣なまなざしでInstructorに向かって一礼しました。また、2026年度スカラシップ生の富樫虎太郎も紹介しました。



11月初旬に行われる修了式までに掛ける想いを心に刻み込む入校生たち。会場にはその緊張感が漂っていた

















































[50音順]

●Moto Class岡田忠之Principalのコメント

「ご入校おめでとうございます。ようこそHRS鈴鹿へ。明日からカリキュラムが始まります。心を開いて自分からInstructorに質問するようにしてください。常に会話を心掛けて自分の課題を明確にし、それを克服しようと貪欲に求めていった結果として速くなることができると思います。年間全12回とスクールは昨年より回数を増やし、フラットトラックコースでのトレーニングも計画しています。さらに皆さんのスキルを高めることができる環境を整えています。皆さんにお願いしたいのは、常に目標を持って欲しいということです。スクールの回数を増やしたと言っても、一年365日の内、年間12回です。家に帰ってから何を考えてどう行動するのか。スクール以外の普段の生活でも速くなるためのチャンスを掴もうとする。そういう考え方をすることが大切です。レースという競技には順位がつきます。普段からどれだけ熱心に取り組むか、それが結果として現れる厳しい世界です。だからこそ普段から努力を続けることが大事なのです。皆さんの目標のため、我々講師陣も力を尽くします。皆が一丸となって良い一年にしましょう」



















































[50音順]



Motoクラスベーシックコース入校生6名 (内1名欠席)



Motoクラスアドバンスコース入校生3名





2026年度Moto Classでスカラシップを獲得した富樫虎太郎。富樫は今シーズンのIdemitsu Moto4 Asia Cupに参戦中



入校式後は心理検査、入校説明会、オリエンテーションを実施 翌日からはバイクの基本操作を習得する第1回目カリキュラム を南コースで開始

入校式後には内田クレペリン検査による心理検査を実施し、また、スクール全般の基本的案内事項・注意点・お願い事項などの説明を行ないました。ここでは、今後のステップアップを見据え、フルコースライセンス(SMSC 2Rライセンス)の取得方法についても説明しました。さらには連絡事項をスムーズに伝達するためのコミュニケーションツールの活用方法の説明、入校生とInstructorの親睦をはかるオリエンテーションも行ないました。

入校式の翌日4月2日(木)と3日(金)にはベーシックコース、アドバンスコースとともに早くも鈴鹿サーキット・南コースにて第1回目カリキュラムを開催しました。

新入生に向けてまずスクール用マシンであるHonda CBR250Rの取り扱い方法やピットイン・ピットアウトする際の注意点などサーキット走行の基本ルールを説明し、その後、ベーシックコースの新入生及び継続生、そしてアドバンスコース生が走行訓練に参加しました。

ここでは新入生の走行レベルを確認した後、ブレーキングや切り返しといった基本トレーニングを繰り返して実施し、身体を使ってバイクを曲げる走行訓練を行いました。

この走行訓練の目的はバイクに備わっている基本的な特性を知り、それをライディングに活かすこと。今後のカリキュラムでも、細かなバイクの挙動を感じながら繰り返し走行訓練を行うことでバイクの基本的な動きを身体に覚え込ませ、的確なマシンコントロール能力を身に付けていきます。また、走行の合間にはミーティングを繰り返し行い、各自の課題を再確認し、それを克服するよう、意識づけを行っていきます。

なお、今年度はスクール開催日を増やし(2025年度計11日間。今年度計12日間)、フラットトラックコースを使ったトレーニングも計画するなど、カリキュラム内容の強化を行いました。このように、さらなる教育環境の充実により、スキルの着実な向上を実現していきます。



オリエンテーションでは、Principal、Instructorとの積極的なコミュニケーションを想定した配置で気軽に会話できる環境を創出した



















































もはや必修科目とも言える内田クレペリン検査を実施。受講生たちの適性データは今後のカリキュラムに活かされることになる



入校後のカリキュラムはすべて座学。その中にはスクールと受講生間の連絡等情報を効率的に共有するコミュニケーションツール(チャットアプリ)のセミナーもあり、デジタルネイティブ世代にとってはお手の物の様子





南コースでの走行訓練を前にしてフィジカルウォームアップ、自ら行う走行前メンテナンス、走行前ミーティングを行い、走行訓練に臨む



スクール用マシンであるHonda CBR250Rを使い、バイクの基本的な動きを身体に覚え込ませ、的確なマシンコントロール能力を身に付けるため走行訓練を繰り返す

TAICHI

Arai
HELMETS

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXGEL
MOTORSPORT

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

FRUITS TALK
RACING GEAR

Sabelt

CCI

SHIBA LUNING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

IGNY/KARL
RACING GEAR

TORAY
Toray Carbon Magic

金夢

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
MOTOR SUPPLY SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS